



平成 27 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社ウィルグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 池 田 良 介
(コード番号：6089)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 高 山 智 史
(TEL. 03-6859-8880)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と 実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の連結業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,413	359	359	181	19.14
実 績 値 (B)	19,860	614	616	262	27.54
増減額 (B-A)	447	255	257	80	
増減率 (%)	2.3	71.1	71.6	44.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	15,185	335	341	189	20.11

(注) 当社は、平成 26 年 9 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株、平成 27 年 9 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これに伴い、1 株当たり四半期（当期）純利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異が発生した理由等

(1) 第 2 四半期（累計）連結業績予想との差異について

売上高については、セールスアウトソーシング事業において業務請負売上高が伸長したこと、平成 27 年 9 月 1 日に連結子会社化した株式会社クリエイティブバンクが業績寄与したこと、医療・介護分野における人材派遣・紹介サービスの事業展開が当初の計画よりも早かったこと、これら以外の事業においても順調に推移したこと等により、当初の予想を上回りました。営業利益、経常利益については、セールスアウトソーシング事業において利益率の高い業務請負売上高の比率が当初の予想より高かったこと、医療・介護分野における人材派遣・紹介サービスの営業損失が当初の予想より縮小したこと、また、販売費及び一般管理費にお

いて当第2四半期連結累計期間に予定していた拠点開設及び様々な調査に係る費用等の予算の未消化等があったため、当初の予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、当社グループが保有する投資有価証券について、減損処理による投資有価証券評価損94百万円を特別損失として計上したものの、経常利益の増加により吸収し、当初の予想を上回りました。

これらにより、当第2四半期（累計）連結業績は、売上高19,860百万円、営業利益614百万円、経常利益616百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益262百万円となりました。

（2）通期連結業績予想について

当第2四半期連結累計期間より連結子会社化した株式会社クリエイティブバンクが業績に寄与する見込みですが、経済の先行きが不透明であること、また、未消化であった予算の消化を計画していることから、平成27年5月8日に発表いたしました通期連結業績予想（売上高39,120百万円、営業利益1,094百万円、経常利益1,094百万円、親会社株主に帰属する当期純利益601百万円、1株当たり当期純利益63円30銭）を据え置いております。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上